

## 栗隈の三年

本年は、久御山高校赴任3年目を迎えます。この間、年次進行で1学年の学級数を5学級から7学級に増やして、全学年が7学級となり、これまで「英知と情熱」をテーマに取り組んできた久御山高校の教育を定着する年にしたいと考えています。

具体的には、校訓に「共助」を加え、「自学・自律・自鍛・共助」を単なる言葉だけの校訓にせず、全教育活動の中で具現化することを考えてきました。

新しい教育基本法では社会貢献の思想が明確になり、国際理解教育、人権教育、地球的規模での問題群（環境やエネルギー等）を考えると、「自学・自律・自鍛」の個としての社会的自立を目指した教育とともに、グローバル社会に対応した素養が必要であろうと考えたからです。また、一昨年に府教委から「教育課程特例校」の指定を受け、こうした趣旨を生かした教育過程を編成し、類・類型制度の枠を超えて、毎学年時に習熟度別・進路別クラス編成や授業時間数の増加が可能となり、より個に応じた教育を展開できるようになりました。さらに、生徒達の学習進捗状況を分析し、将来を見通した確かな学力を育成するためのプロジェクトチーム（Gandam Project）を結成して、学校の活性化を図っています。

本年は創立30周年の佳節を迎えます。同窓会、教育後援会、PTA が一つになって30周年記念事業実行委員会を立ち上げ、校舎中庭の整備をしていただくことになりました。校章がタイル張りで浮かび上がり、大きな舞台を備えた「同窓のひろば」が8月末には完成いたします。多くの同窓生たちが学校に集い、思い出を共有するとともに、未来に向けて出発できるような広場になればと願っています。10月4日の記念式典では、自転車世界55、000キロを走破し、英語の教科書にも掲載されている坂本達氏を迎え、講演をお願いしております。生徒達に夢と勇気を与え、そして多くの方が生かし生かされている存在であり、いかに感謝の心が大切かを教えていただけるものと思っています。

また、本年の大きな行事として、朝読運動（Kumiyama Book Wave）の充実とともに、2年生の研修旅行の変更があります。これまでの北海道研修旅行を沖縄と中国のコースに分けて実施します。沖縄では、「戦争と平和」について学ぶとともに、沖縄県人の心「ウチナンチュウの心」や世界文化遺産をしっかりと学ばせたいと考えています。中国では、中華文化の原点である西安市（長安の都）や万里の長城など北京の世界文化遺産群を視察するとともに、勤勉な陝西師範大学の学生と交流することになっています。いずれも国際交流への資質を磨くことができるものと確信しています。

高校に期待される役割は、多様な生徒の個性に対応した教育を行うとともに、これからの社会を担う有為な人材を育てることだと考えています。

また、地域・保護者に信頼され、期待に応える教育活動を推進するためには、生活規律や学習習慣を確立し、高校教育の総和である希望進路の実現に向けた取組を全力で進める必要があると考えています。こうした久御山高校の教育に今後ご理解・ご協力をいただきますようお願いいたします。